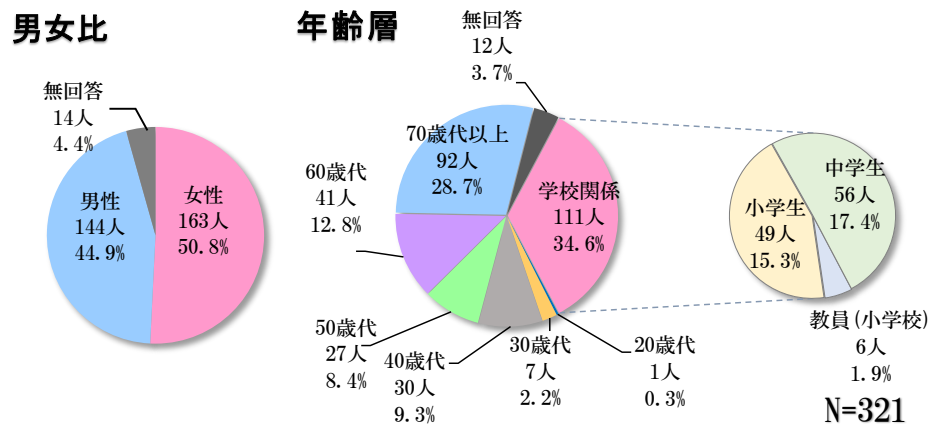


「一般国道375号(大内通り)歩道リニューアル修繕工事」に伴う満足度調査(アンケート調査)結果概要

◇回答者の属性

- 女性の回答割合がやや多くなりました。
- 回答者の年齢層は、「70歳代以上」が最も多く、次いで「60歳代」が多くなりました。
- 「30歳代」と「20歳代」は回答数が少なくなりました。
- 小学校(教員含む)と中学校の回答は全体の約35%でした。



◇アンケート配布数と回収率

- 【一般市民】配布数 672通、回収数 210通(回収率 31.2%)
- 【学校関係】小学校 配布数 55通、回収数 55通(教員6通含む)(回収率 100%)
 中学校 配布数 56通、回収数 56通(回収率 100%)
- 【合計】配布数 783通、回収数 321通(回収率 40.9%)

広島県北部建設事務所
 平成31年3月
 文中の色分け：
 赤文字は肯定的な意見など
 青文字は改善点・要望・指摘など

◇個別の項目に関する満足度

●個別の項目についてみると、全体(図1)では「十分に満足」または「満足」の回答が多く、各項目で概ね8割の人が満足している傾向にあり、今回の工事の効果があったと評価できます。

●特に排水に関する対策(③④)は、全体的な満足度が最も高くなっています。

また、自由記述においても小学生の肯定的な意見が多く、効果があったと評価できます。

●一方で「⑦その他電柱類の移転」「②歩道と車道の分離方法」は比較的不満度が高い傾向となりました。

●一般市民(図2)、学校関係者別(図3)の集計結果を見ると、概ね全体と同様な傾向となり、個別の項目について8割程度の人

図1 項目別満足度(全体)

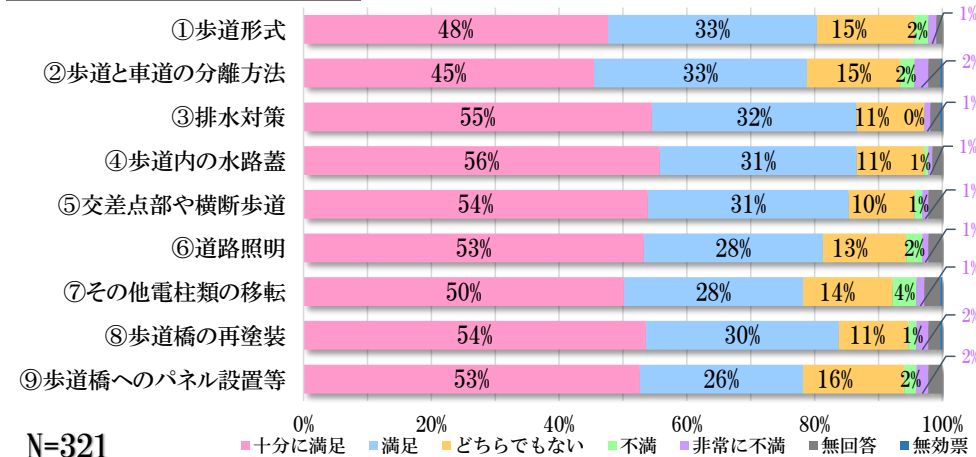


図2 項目別満足度(一般市民)

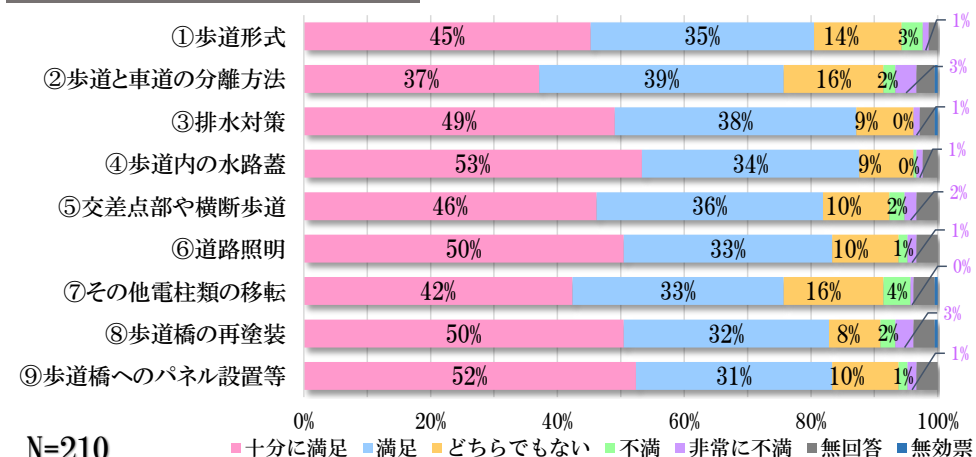
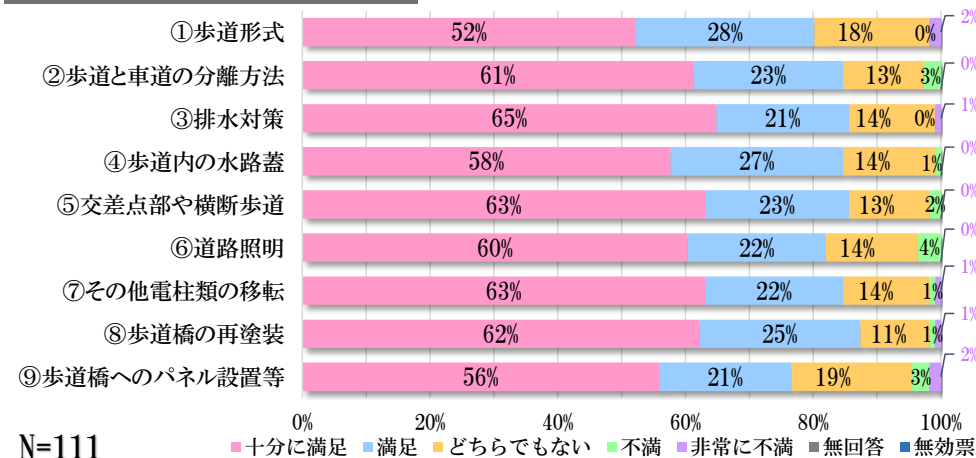


図3 項目別満足度(学校関係)



◇結果のまとめ

項目	満足度や自由意見の傾向	改善点などの意見
①歩道形式 ②歩道と車道の分離方法	●歩道の段差が解消されたことにより、 歩きやすくなったことに満足している 意見が多くなりました。 ● 現行の幅員構成を変更していないことに対する意見が複数 ありました。	●歩道と車道の段差が無くなったことで、歩行の際に 自動車が近く、恐怖を感じる 。(中学生) ●ラバーポールにより、部分的に有効幅員が狭くなっている。(小学生・40歳代) ● ベビーカーを使用する際に歩道が狭いと感じる (40歳代) ● 自動車運転時にスピードを出しすぎる人が多い 。(60歳代・70歳代)
③排水対策 ④歩道内の水路蓋	● 排水性の向上や、水路蓋のがたつき解消に満足している 意見がほとんどでした。	●水路の蓋がふさがれているため、 積雪時の除雪(排水)が心配 。(70歳代)
⑤交差点部や横断歩道	● 交差点部のカラー舗装により、視認性が向上したことに満足している 意見が多くなりました。	● 交差点滞留部に舗装の未施工箇所が残されている 。(50歳代)
⑥道路照明	● 道路照明の配置により、交差点が明るくなったことに満足している 意見が多くなりました。	● 暗い箇所が他にも多くあるため解消してほしい 。(40歳代・60歳代)
⑦その他電柱類の移転	● 電柱類(電柱、信号柱など)の移設により、歩きやすくなったことに満足している 意見が大半となりました。	● 通行の支障となる電柱類が他にもあるため解消してほしい 。(50歳代・70歳代)
⑧歩道橋の再塗装 ⑨歩道橋へのパネル設置等	● 歩道橋の再塗装および絵画パネルの設置により、景観が向上したことに満足している 意見が大半となりました。	● 絵画パネルは、定期的に交換してほしい 。(40歳代) ● 歩道橋の茶色が現地にそぐわない 。(50歳代・70歳代)
そのほか 自由記述	●自由記述において、 住民参加で計画を作成したことに肯定的な意見 が見られました。	—

◇実施効果の考察(今後の課題)

- 歩道の段差解消や排水性向上、交差点部のカラー舗装などの改善工事を行いました。いずれの実施項目においても「十分に満足」「満足」の割合が高く、高い事業効果が得られたと評価できました。
- 地域の皆さんの協力を得て計画を作成した事業であったことが、満足度の高さにつながったと考えられます。地域に密着した事業を進めていくには、計画段階から地域の皆さんに参加していただける仕組みづくりが必要です。
- 一方で、改善を望む意見も複数いただきました。内容によっては関係機関との調整や地域の皆さんにご相談することが必要な意見もありますが、可能な範囲で対応し、誰もが使いやすい道路空間を整備していく必要があります。